

2. 教育課程の編成

(1) 学校教育目標及び努力点

① 教育目標

豊かな心と実践力のある子どもの育成

かけがえのない一人ひとりの子どもの尊厳に徹した教育を基礎とし、互いに心のふれ合いを大切にしながら、豊かな心と実践力のある子どもを育てる。

○めあてをもって

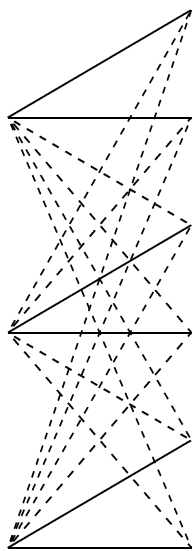
深く考える子

○美しさに

感動できる子

○くじけずやりぬく

たくましい子



心に計画をもち工夫しようとする構え

自ら考え、学ぼうとする姿勢

人間らしい心豊かな情操

人間として、生きることを助け合う姿

健康でたくましい体力

強い意志と忍耐

- ・めあてをもって、深く考え、自ら学ぼうとする子
- ・心豊かで、美しさに感動できる子
- ・強くたくましく困難にもくじけず、最後までやりぬく子

②めざす子ども

① めあてをもって、深く考え、自ら学ぼうとする子

“今、自分は何をしなければならぬか” “そのためにはどんな工夫をすればよいか” 等、しっかりしためあてをもって行動できる子どもは、常に心に計画をもち、“今ある自分”を一步でも前に進めようとするものである。

私たちは、生活の各場におけるめあての定着・深化に力を注ぎ、自ら考え、正しく判断し、行動に移せる子どもを育てる。

② 心豊かで、美しさに感動できる子

心がすこやかで豊かな子どもは、美しい自然を前にしたとき素直に感動し、思いやりの心をもって励まし合う姿を美しい姿だと感得するものである。

私たちは、一人ひとりの人間の尊厳に気づき、自分の友だちのねがいを大切にしながら、人間として生きることを助け合っていける子どもの育成をめざしたいと考えている。

③ 強くたくましく、困難にもくじけず、最後までやりぬく子

自分の健康に気をつけ、めあてをもって自分の身体をきたえ続けている子どもは、強い意志力をもち、生活のあらゆる場において、ものごとを持続して行うことができるものである。

私たちは、絶えず流動し、急速に変容しつつある昨今の社会情勢の中で、子どもたちの前途に心を馳せるとき、どんな困難にもくじけず、耐えぬくことができる強い体力とたくましい気力を育てることが大切であると考えている。

③努力目標

- ・一人ひとりの人格を認め合い、みんな仲よく助け合い、みがき合う集団を育成する。
- ・学校生活のきまりを守り、寛容と思いやりのある心をもち、安全を心がける子どもを育てる。
- ・体力の向上を図り、心身ともに健康で明るい子どもをつくる。

④努力点（◎については、本年度の重点課題）

- | | | |
|---------------------|-------------|----------|
| ◎生活指導の徹底 | ◎人権・同和教育の推進 | ◎基礎学力の定着 |
| ○体育、道徳、総合的な学習の内容の充実 | | ○学級経営の充実 |
| ○特別支援教育の充実 | | |